

まなびんぐ だより

2024. 5. 2

しのぶがおかしやがっこう がくしゅうしどうぶ
忍ヶ丘小学校 学習指導部

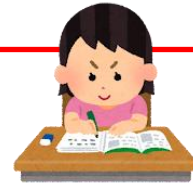
No. 2

かていがくしゅう 家庭学習 どんなふうにやってみる？

しんがっき はじ いっかげつ た あたら 新 しいクラスにはそろそろ慣れ、生活リズムも同じようにルーティーンができてきたころでしょうか？学校では学習もいよいよ本格的になってくるころです。学校での学びはもちろんですが、それ以外の時間での学びの積み重ねも大切にしていきたいところです！

さて、各家庭で家庭学習の進め方やルール、取り組む時間は様々かと思えます。自分たちの生活スタイルに合わせた「我が家の家庭学習スタイル」ができるといいですね♪ぜひお家で話し合ってみてください！

☆我が家の家庭学習スタイル☆



①家族で話し合おう！

②『どの時間に・どのくらい・何をするのか』を決めよう！

③『やらなければならないこと・やりたいこと』もふまえて計画に入れよう！

子ども自身に決めてもらおうと「この時間にやれば効率いいのに・・・」と大人が思うことはもちろんあります！しかし、まずはお子さんたちの考えや思いを聞き、子どもの計画を立てさせてください。初めは効率が悪く感じてしまい、言いたくて辛いですがここはがまんしましょう。(同じ母としては心苦しさしかありませんが・・・)

なんだかうまくいかない。となったらその気づきが子どもたちの自己調整力につながる大チャンスです！待ってました！といわんばかりにその時こそ、ぜひ一言アドバイスしてあげてください。『自己決定→調整』これが自分で学んでいく力につながっていくはずですよ。(中学校に向けても大事ですよ☆)

アドバイスの際にはぜひ「I message」を！「お母さんはこう思うな」「お父さんはここが大変そうだな」と「私は～思うよ」と伝えましょう。「だからうまくいかないって言ったのに！」では子どももそうですが、大人の私達でもなんとなく素直にアドバイスを受け取れないですよ！ぜひ「I message」で「愛あるメッセージ」を伝えてみませんか？
学習ノートの隅にお家の方からの『頑張ってるね！』のちょっとしたメッセージも子どもたちの励みになると思っています♪



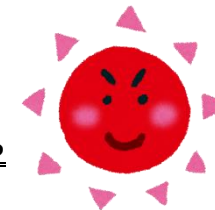
例えば、5年生の家庭学習の目安60分の学習時間の使い方として・・・

朝タイプ

朝30分と夕方30分に分ける

朝⇒学校の宿題

夕方⇒音読+自主学習(読書・漢字・計算・リコーダー・お手伝い・なわとび など)



帰宅タイプ

帰宅から60分

宿題 30分 (音読・漢字・計どなど)

自主学習 30分 (読書・漢字・計算・リコーダー・お手伝い・なわとび など)



どの時間に⇒朝・帰宅してから・ご飯の前・ご飯の後 など

どのくらい⇒目安として 学年×10分+10分

何をやるのか⇒やらなければならないこと (宿題・習い事の課題など)

やりたいこと (自主学習)

次回! 自主学習=調べ学習ではない! についてお伝えしたいと思います!